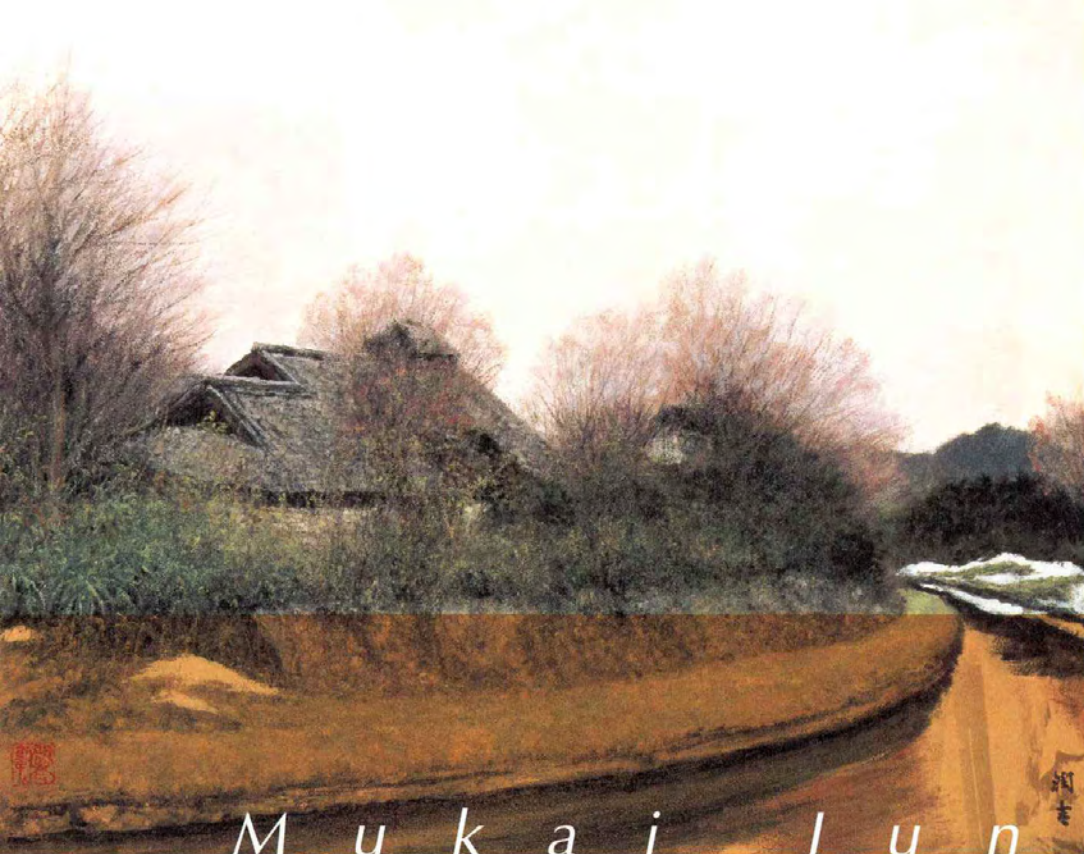


風土をみつめる旅



M u k a i J u n k i c h i

財団法人地域創造 平成20年度市町村立美術館活性化事業  
世田谷美術館所蔵作品による

# 向井潤吉展

7/12<sup>土</sup> ~ 8/24<sup>日</sup> 会期・2008年

茅野市美術館  
(茅野市民館内)

◎開館時間：10:00~19:00

◎休館日：毎週火曜日

◎観覧料：一般500円(300円)

高校生以下は無料

障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は無料

( )内は前売・20名以上の団体料金

主催：第9回共同巡回展実行委員会、茅野市美術館  
特別協力：世田谷美術館  
助成：財団法人地域創造  
後援：長野県、長野県教育委員会  
茅野市、茅野市教育委員会

茅野市美術館

地域をみつめるプロジェクト

■地域を歩くワークショップ

講師：篠原昭登(洋画家・一水会常任委員)

5月6日(火・休)9:30~12:00 宝勝寺

参加費無料 要事前申込み(4/20締切・抽選)

■篠原昭登展 ハケ岳山麓に魅せられて

5月28日(水)~6月9日(月)10:00~19:00

茅野市美術館企画展示室(入場無料)

■記念講演会「向井潤吉の画業にふれて」

講師：橋本善八(世田谷美術館美術担当課長)

7月13日(日)14:00 茅野市民館アトリエ(入場無料)

■土壁ワークショップ(親子対象)

~赤土をこねて、竹を編んで、土壁をつくろう~

講師：藤森照信(建築史家・東京大学教授)

7月20日(日)、21日(月・祝)茅野市民館中庭、他

参加費無料 要事前申込み(7/6締切・抽選)

■朗読会「向井潤吉・旅の記憶、旅の言葉」

朗読：久保恒雄(俳優・黒テント)

8月8日(金)19:30 茅野市美術館

(入場無料 要展覧会チケット)

上一春塘(埼玉県川越市郊外) 昭和59年  
下一微雨(長野県木曾郡南木曾町吉妻 表籠) 昭和49年

Chino City  
Museum  
of Art



財団法人地域創造  
平成20年度市町村立美術館活性化事業

世田谷美術館所蔵作品による

# 向井潤吉

風土をみつめる旅



向井潤吉(1901~1995)は京都市に生まれ、関西美術院に学びました。1920年に二科展に初入選後、1927年に渡欧、ルーヴル美術館で模写に没頭し、技法、表現の研究を重ねました。1930年には樗牛賞を受賞し、1933年からは、東京都世田谷区にアトリエを構え、制作拠点としました。そのアトリエは現在、向井潤吉アトリエ館となっています。1937年からは陸軍報道班員として、戦争記録画の制作にも従事し、1945年には行動美術協会の創立会員となります。戦後は高度経済成長の中、失われていく風景を記録していくことをライフワークとして茅葺屋根の民家をモチーフに日本全国の風景を描き続け、1959年、再び渡欧し、ヨーロッパ各地を写生しています。1995年に93歳で亡くなるまで日本の原風景を描き続けた画家です。今回、大正8年(1919)から平成元年頃までの作品を展示し、里山の風景と調和し、見る者を惹きつけたその一貫した思想や表現力の秘密を世田谷美術館が所蔵する作品群によって総合的に回顧し、画家の魅力と生涯を探ります。



春遠き町 昭和20~29年



マタギの家(秋田県北秋田市阿仁町根子) 昭和38年



聚落(山形県鶴岡市田委保) 昭和41年



奥丹波の秋(京都府船井郡丹波町) 昭和44年



峠の下の村(岡山県苫田郡鏡野町上齋原) 昭和53年



泉(アングルの模写) 昭和4年



自画像 大正8年

## 茅野市美術館 地域をみつめるプロジェクト

### ■サウンドスケープ ワークショップ

~地域の音を録音して、みんなで聞こう~  
講師:庄野泰子(音環境デザイナー)  
8月10日(日)、17日(日) 野外・茅野市民館ロビー  
参加費500円 要事前申込み(7/27締切・抽選)

### ■夜楽塾「地域をみつめる-過去・現在・未来-」

出演:篠原昭登、木之下晃(音楽写真家)、藤森照信  
司会:倉田直道(都市計画家)  
8月28日(木)19:00 茅野市民館コンサートホール(入場無料)



### ◎交通案内

- JR中央線・茅野駅下車、東口隣接
- 中央自動車道・諏訪ICより車で約12分

## 茅野市美術館

〒391-0005 長野県茅野市仲町1番22号(茅野市民館内)  
TEL.0266-82-8222 FAX.0266-82-8223  
<http://www.2.chinoshi.net/shiminkan/>